

No.	013	—	2006	事務事業名	とうおん魅力発信事業							公的関与	8
PLAN	課名	地域活力創出課	係名	観光物産係	電話番号	089-964-4414		メールアドレス	chikaso@city.toon.ehime.jp				
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	非該当	事業期間	平成 25 年度	～	期間設定なし		
	総合計画	政策目標	3 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	3 観光・物産の振興		主要施策	3 広域観光体制の充実とPR活動等の強化				
	事業の目的	東温市イメージキャラクターいのとんを中心に観光大使も活用し、本市の魅力为全国に発信する「東温市知名度アップ戦略」に取り組み本市の魅力を伝え、より多くの誘客を図るため。				根拠法令等							
	事業の手段	県が主催する観光PRや物産展、広域観光連携推進協議会による連携事業、協定締結自治体等との連携を図りながら、効果的に本市の魅力を伝え、より多くの誘客を図り、地域活性化に取り組みます。				掲載計画							
	達成度を測る指標	指標名	計算式又は指標設定理由		単位	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	最終目標				
		いのとんのイベントへの参加	本市のPR、広報宣伝活動のため		回	目標	100	100	100	110			
						実績	107	90					
						目標							
						実績							
					目標								
	実績												
活動内容	①	県内外のイベントに参加し、本市のPR、広報宣伝活動を行った。			④								
	②	いのとん着ぐるみの維持管理			⑤								
	③	観光大使の委嘱											
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	商工		費					
	直接事業費		令和 元 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	16 千円	14 千円	15 千円								
		一般財源	2,965 千円	1,470 千円	2,863 千円								
	計(A)	2,981 千円	1,484 千円	2,878 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.440 人	2,746 千円	0.440 人	2,748 千円	0.440 人	2,730 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円					
	全体事業費(A+B)		5,727 千円	4,232 千円	5,608 千円								
一次評価者	観光物産係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	本市の魅力効果を効果的に県内外へ発信し、本市への誘客を図り、地域の活性化を目指すためには、観光大使によるSNSでの情報発信や、「いのとん」の積極的な活用が必要です。												
有効性	多くの方に本市を訪れたいと思ってもらえるように市の魅力を発信しており、交流人口の拡大につながっています。												
達成度	新型コロナウイルスの影響により、各種イベントが中止になるなど、市の魅力をPRできる機会が減少したことが主たる要因ですが、厳しい状況下でも、SNSなどを活用して取り組んでいます。												
効率性	いのとん派遣業務は、(一社)東温市観光物産協会へ委託し、適切に実施されています。また、魅力ある情報発信も、SNSを活用し、新たな取り組みも行っています。												
当面の課題	新型コロナウイルスの影響により、本市の魅力伝えることができる他市町のイベントの中止や規模縮小があり、対面(リアル)での魅力発信が実施できなかったことから、ウイズコロナ・ポストコロナにおいても、効果的な情報発信の仕組みの構築が必要です。												
改革計画	新型コロナウイルスの影響で機会は少なくなっていますが、様々な場面で市の魅力について、他の観光促進事業等も活用し、継続的に発信していきます。												
二次評価者	地域活力創出課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	市観光物産協会と連携し、ウイズコロナ・ポストコロナを踏まえた取組みを検討し、本市への誘客促進を行うとともに、SAKURAsselect商品等の売上向上に取り組んでください。												

No.	013	—	2030	事務事業名	市観光物産協会補助金				公的関与	9			
PLAN	課名	地域活力創出課	係名	観光物産係	電話番号	089-964-4414	メールアドレス	chikaso@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	補助金・負担金・支援		事業運営方法	補助等	実施計画	非該当	事業期間	平成 17 年度	～ 期間設定なし			
	総合計画	政策目標	3 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	3 観光・物産の振興		主要施策	3 広域観光体制の充実とPR活動等の強化				
	事業の目的	市の観光PR及び物産販売を行い、産業の振興、交流人口拡大による地域活性化を図るため。				根拠法令等	東温市観光物産協会補助金交付要綱						
	事業の手段	一般社団法人東温市観光物産協会に対して補助金を交付します。				掲載計画	第2期東温市まち・ひと・しごと創生総合戦略						
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	最終目標			
		観光物産協会会員数		補助団体の組織機能の強化を図る指標であるため		人	目標 120	120	120	120			
		観光PR・物産販売回数		新型コロナウイルス感染症の影響により大幅に減少		回	目標 130	140	150	160			
						回	実績 99	106					
						回	実績 141	99					
				回	目標								
DO	活動内容	①	補助金の交付			④							
		②				⑤							
		③											
	予算費目	会計	一般会計			費目名	商工			費			
	直接事業費		令和 元 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	8,100 千円	9,868 千円	9,550 千円								
	計(A)	8,100 千円	9,868 千円	9,550 千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.149 人	930 千円	0.157 人	981 千円	0.157 人	974 千円						
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		9,030 千円	10,849 千円	10,524 千円									
一次評価者	観光物産係	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	3	今後の方向性	方法改善
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	市の観光・物産施策推進に寄与し、市内事業所と連携して様々なイベントを実施するなど、運営経験が豊富であり、地域活性化につながるが見込めるため、支援を継続すべきと考えます。												
有効性	観光PRや物産販売の継続により、交流人口拡大や販路開拓の成果が見込まれます。観光物産協会への委託事業が補助対象事業と類似しますが、一体的な取り組みとして有効と考えます。												
達成度	新型コロナウイルス感染症の影響により、イベントや物産フェアが中止となり、PRの機会が大幅に減少しています。												
効率性	人件費の高騰や組織のマンパワー不足の課題を抱えながら自主財源の確保に努めています。今後は市のほか、関係団体や地域おこし協力隊とも連携した事業展開が求められます。												
当面の課題	観光物産協会のマンパワー不足、新型コロナウイルス感染症の影響による観光PR及び物産販売の機会の減少など、事業実施に制限がありますが、ポストコロナに向けて積極的な観光施策の推進が求められます。												
改革計画	観光物産協会の自主財源確保に向け、市との連携事業の精査を検討します。また、令和2年度に構築したオンラインショップの周知やSNSを活用した観光PRに努め、コロナ禍においても観光物産のPRを継続できる仕組みの強化を図ります。												
二次評価者	地域活力創出課長	総合評価点	B	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	3	今後の方向性	方法改善
二次評価での指摘事項	観光物産協会に対しては、ウイズコロナ・ポストコロナに対応した事業展開が強く望まれています。事務局ほか2名の職員で全ての期待に応えることはとても厳しいと思われ。連携を密にして適切な支援を行うとともに、組織体制等見直しを行ってください。また、本市の観光やSAKURAsselect商品などの情報発信について、これまで以上にSNSをはじめ、デジタル化やAIなどの活用を検討してください。												

No.	013	—	2039	事務事業名	【総合戦略】とうおんツーリズム促進事業						公的関与	8	
PLAN	課名	地域活力創出課	係名	観光物産係	電話番号	089-964-4414	メールアドレス	chikaso@city.toon.ehime.jp					
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営	実施計画	該当	事業期間	平成 30 年度	～	期間設定なし		
	総合計画	政策目標	3 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	3 観光・物産の振興		主要施策	3 広域観光体制の充実とPR活動等の強化				
	事業の目的	本市の地域資源を活用した特色ある観光や広域的な観光を促進させるとともに、交流人口の増加を図るため。				根拠法令等							
	事業の手段	本市の観光地・施設等に、貸切バスを利用した団体旅行を催行する旅行者に対し、助成金を交付します。				掲載計画	東温市まち・ひと・しごと創生総合戦略						
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	最終目標			
		当該助成を受けたバスツアー参加者		利用した人数を把握するため		人	目標	700	100	100	800		
							実績	663	65				
							目標						
							実績						
					目標								
					実績								
DO	活動内容	①	バスツアー主催旅行者への助成			④							
		②	周知チラシの発送			⑤							
		③	アンケート結果の確認										
	予算費目	会計	一般会計			費目名	商工			費			
	直接事業費		令和 元 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	626 千円	130 千円	1,077 千円								
	計(A)	626 千円	130 千円	1,077 千円									
人件費(B)	正職員工数・経費	0.030 人	187 千円	0.030 人	187 千円	0.030 人	186 千円						
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		813 千円	317 千円	1,263 千円									
一次評価者	観光物産係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	より多くの市外の方に、本市の観光施設や飲食店を利用していただく仕組みとして、本事業は必要です。												
有効性	バスツアーに参加した人の満足度も高く、再度本市にお越しいただくなど、リピーターにつながっており、観光バス会社や旅行会社の本市ツアーへの造成に繋がっています。												
達成度	新型コロナウイルス感染症拡大防止により、観光ができない状況下にはありましたが、今後、ウイズコロナ・ポストコロナを踏まえ、市内の事業所と連携し感染症対策を徹底することで誘客促進に取り組めます。												
効率性	日帰りツアーバス1台(15名以上)に係る助成額は20,000円で、観光施設や飲食店での売上向上につながっています。												
当面の課題	新型コロナウイルスの影響で、不要不急の外出の自粛が求められ、県をまたぐ移動が制限されたことにより、本事業の活用が少なくなっています。												
改革計画	GoToトラベル事業との併用も認め、本市の誘客促進に努めます。また、本事業の活用促進のため、県内外の観光会社・バス会社等へ、積極的に情報発信に努めます。												
二次評価者	地域活力創出課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	現状維持
二次評価での指摘事項	新型コロナウイルス感染症により冷え込んだ観光産業のV字回復につながるよう、積極的に周知を行い、誘客促進に取り組んでください。												

No.	013	—	2040	事務事業名	【総合戦略】とうおんファミリーフェスティバル開催事業						公的関与	8	
PLAN	課名	地域活力創出課	係名	観光物産係	電話番号	089-964-4414		メールアドレス	chikaso@city.toon.ehime.jp				
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	非該当	事業期間	平成 27 年度	～	期間設定なし		
	総合計画	政策目標	3 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	3 観光・物産の振興		主要施策	2 イベント等の充実				
	事業の目的	コロナ禍でも地域が活性化するよう、また、家族が楽しめるようなイベントを実施し、地域振興の推進に寄与するため。				根拠法令等							
	事業の手段	(一社)東温市観光物産協会と連携し、市内事業者や交流市町と連携・協力した特色ある観光・物産展を開催します。				掲載計画	東温市まち・ひと・仕事創生総合戦略						
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	最終目標			
		来場者数		来場者数把握のため		人	目標 3,000	1,500	1,500	3,000			
		出店事業所・協力団体数		事業所や交流市町と連携した特色ある催しとするため		団体	目標 20	-	20	20			
							実績 約3000	約1350					
							実績 23	-					
					目標								
DO	活動内容	①	お野菜福袋の販売			④							
		②	市内飲食店・協力団体等の出店			⑤							
		③	愛媛サイクリングの日に合わせたレンタサイクル無料貸し出しやサイクリングイベントの実施										
	予算費目	会計	一般会計		費目名	商工		費					
	直接事業費			令和 元 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算	備考						
		国・県支出金		0 千円	0 千円	0 千円	令和3年度は「えひめの未来チャレンジ支援事業」に採択されたため、イベント助成金の400千円ではなく、1,230千円の補助金を受けられる。令和2年度は、当該事業費の全額(2,591千円)を減額したが、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、ほっちょ市を3回開催したほか、とうおんグルメチケットを販売した。						
		地方債		0 千円	0 千円	0 千円							
		その他特定財源		400 千円	0 千円	400 千円							
		一般財源		2,356 千円	0 千円	2,061 千円							
	計(A)		2,756 千円	0 千円	2,461 千円								
人件費(B)	正職員工数・経費	0.041 人	256 千円	0.041 人	256 千円	0.041 人	254 千円						
	臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円	0.000 人	0 千円						
全体事業費(A+B)		3,012 千円		256 千円		2,715 千円							
一次評価者	観光物産係	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	現状維持
項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)												
必要性	にぎわいの創出、交流人口の拡大を図るため、市内事業者や交流市町との連携を図り、他市町にない独自性の強いイベントが実施できており、継続して実施する必要があります。												
有効性	コロナ禍においても地域が活性化するよう、新型コロナウイルス感染対策を講じながら実施しており、生産者等の売上向上や、地域の活性化につながっています。												
達成度	新型コロナウイルス感染症拡大防止により、イベントの開催ができておりません。ウイズコロナ・ポストコロナを踏まえ、感染対策を万全に行って再開する必要があります。												
効率性	新型コロナウイルス感染症対応関連の交付金等を活用し、新たにSNSも活用したハイブリット型イベントの構築に取り組んでいます。												
当面の課題	新型コロナウイルスの影響を受けた生産者や事業者の売上向上につながるよう、また、年間を通じてにぎわいの場所を創出できるよう、交流市町とも連携の上、感染対策を講じながらイベントを実施し、地域活性化を図るとともに、本市と交流市町の連携強化を図る必要があります。												
改革計画	新型コロナウイルスの影響により、県外交流市町の出店が困難な状況であるが、オンラインを活用し特産品の魅力を伝える新たな試みにもチャレンジしており、ポストコロナにおける関係人口及び販路拡大に繋がるように取り組めます。												
二次評価者	地域活力創出課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	2	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	本市経済の活性化のためには、市内事業者・生産者の売上向上は絶対です。今後も賑わいの創出につながる仕組みを構築し、交流人口の拡大、関係人口の拡大につながるイベント開催に取り組んでください。												

No.	013	—	2043	事務事業名	【総合戦略】とうおん健康医療創生事業						公的関与	8	
PLAN	課名	地域活力創出課	係名	企業振興係	電話番号	089-964-4414		メールアドレス	chikaso@city.toon.ehime.jp				
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	一部委託	実施計画	該当	事業期間	平成 27 年度	～	期間設定なし		
	総合計画	政策目標	3 創造性と活力に満ちた元気産業のまち		政策項目	2 商工業の振興		主要施策	5 愛媛大学医学部を核とした全学部と市内企業との連携				
	事業の目的	東温市における「ものづくり産業の創生」及び「ヘルスケア産業の創生」のため。				根拠法令等	東温市中小零細企業振興基本条例、						
	事業の手段	市、市内中小連携事業、愛媛大学及び愛媛大学医学部が連携して、健康・医療を主とした連携事業に取り組みます。				掲載計画	まち・ひと・しごと地方創生総合戦略						
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由		単位	令和 元 年度	令和 2 年度	令和 3 年度	最終目標			
		ものづくり産業・ヘルスケア産業に係る取組事業数		新たな産業の創生には多くの取組みが必要であるため		事業	目標	7	8	9	10		
		さくらの湯ランチ体験者数		多くの市民に健康に対する意識を持ってもらうため		人	目標	100	100	100	100		
		いのどん健康ナビ(健康づくり支援システム)登録者数		中小零細企業において健康経営に向けた意識を持ってもらうため		人	目標	300	300	300	300		
							実績	8	8				
					実績	81	56						
活動内容	①	健康医療創生研究会の開催。			④	いのどん健康ナビ(健康づくり支援システム)の提供。							
	②	本事業に関する協議・周知等に係る企業訪問。			⑤	医学部と市内中小零細企業が連携した健康医療創生事業に対する補助。							
	③	さくらの湯ランチの実施。											
DO	予算費目	会計	一般会計		費目名	商工業振興		費					
	直接事業費		令和 元 年度決算	令和 2 年度決算	令和 3 年度予算	備考							
		国・県支出金	0 千円	0 千円	0 千円								
		地方債	0 千円	0 千円	0 千円								
		その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円								
		一般財源	5,682 千円	4,137 千円	4,757 千円								
	計(A)	5,682 千円	4,137 千円	4,757 千円									
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.298 人	1,860 千円	0.298 人	1,861 千円	0.298 人	1,849 千円					
		臨時職員工数・経費	0.000 人	0 千円	0.066 人	131 千円	0.066 人	131 千円					
	全体事業費(A+B)		7,542 千円	6,129 千円	6,736 千円								
一次評価者	企業振興係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
項目	評価項目の説明(一次評価者のコメント)												
必要性	愛媛大学医学部を中心に市内中小零細企業との連携体制が整っており、市長の公約の『健康日本一のまちづくり』を実現するために必要な事業です。												
有効性	コロナ禍において、市内中小零細企業の発展、地域経済の活性化が期待できます。また、さくらの湯ランチの実施により、他の温浴施設との差別化が図れ、観光客の誘客にもつながります。												
達成度	ものづくり産業では、医学部と市内中小零細企業が連携した商品・サービスの開発、ヘルスケア産業では、もち麦レシピやヘルスツーリズムPR動画の作成、さくらの湯ランチ開催などの実績があります。												
効率性	愛媛大学医学部を中心に、市内中小零細企業と連携を図ることにより、市単独ではできない取組みが可能となります。												
当面の課題	具体的な事業の推進が求められており、関係各課及び団体との連携が必須であると考えています。新型コロナウイルス感染症の拡大による影響のため、市や中小零細企業者において、連携事業に取り組むマンパワーが不足しています。												
改革計画	関係各課(健康推進課、長寿介護課等)・団体(社会福祉協議会、商工会、観光物産協会など)と具体的な事業実施に向けた協議を進めます。新型コロナウイルス感染症の収束の際には最重要事業として取り組みます。												
二次評価者	地域活力創出課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実
二次評価での指摘事項	これまでの愛媛大学医学部との取り組みにより、市内の参画事業所も増え、愛媛大学も全学部との連携という成果がみられます。今後は、改革計画にもあるように、関係各課、団体がさらに連携して取り組める仕組みを構築し、本市産業の活性化、市民生活の質の向上に取り組んでください。												